

令和7年度 三重県道路交通渋滞対策推進協議会 概要と意見

令和7年度 三重県道路交通渋滞対策推進協議会について、本協議会を開催した結果を、以下のとおり報告する。

令和7年8月6日
三重県道路交通渋滞対策推進協議会

■委員名簿

所 属	役 職
中部地方整備局	三重河川国道事務所長（会長）
中部地方整備局	紀勢国道事務所長
中部地方整備局	北勢国道事務所長
中部地方整備局	道路部 道路計画課長
中部地方整備局	道路部 地域道路課長（WEB出席）
中部地方整備局	道路部 交通対策課長 （WEB代理出席：交通対策課 係員）
中部地方整備局	建政部 都市整備課長 （WEB代理出席：都市整備課 課長補佐）
中部運輸局 三重運輸支局	首席運輸企画専門官（企画調整担当） （WEB代理出席：企画調整担当 係員）
中部運輸局 三重運輸支局	首席運輸企画専門官（輸送・監査担当）（欠席）
三重県 県土整備部	道路企画課長（WEB出席）
三重県 県土整備部	道路建設課長
三重県 県土整備部	道路管理課長
三重県 県土整備部	都市政策課長
三重県 地域連携・交通部	交通政策課長 （代理出席：交通政策課 主任）
三重県 環境生活部	大気・水環境課長
中日本高速道路(株) 名古屋支社	総務企画部 企画調整課長
中日本高速道路(株) 名古屋支社	保全・サービス事業部 交通技術課長
三重県警察本部 交通部	首席参事官・交通企画課長 （代理出席：交通企画課 交通安全対策室長）
三重県警察本部 交通部	参事官・交通規制課長 （代理出席：交通規制課 交通管制官）
三重県トラック協会	専務理事
三重県バス協会	専務理事
三重県タクシー協会	専務理事（欠席）

■議事概要、意見と回答

1. これまでの取り組み経緯と会議の論点

特に意見なし

2. 基本方針の策定

特に意見なし

3. 2024年度に実施した渋滞対策

- (意見) 北勢バイパスの開通により、地域交通の観点では、坂部地区から富田方面・山城方面に抜ける交通が通行しやすくなった。一方、朝・夕の時間帯は交通量が多く、国道477号から笹川方面に向かう道路において渋滞が発生している。北勢バイパスが国道1号及び国道23号と直結した場合、渋滞緩和が図られると想定されるが、現時点では北勢バイパスの終点部と国道1号及び国道23号の連結部分で渋滞が発生している。国道1号から北勢バイパスを通過して国道23号を利用する場合、特に朝・夕の時間帯において所要時間にばらつきがある。
- (意見) バス運行において北勢バイパスの開通区間の直接利用はしていないが四日市ハイテク工業団地からのバス回送時に利用しており、所要時間は5～6分程度短縮された。また、四日市ハイテク工業団地や四日市大学方面の渋滞は緩和した。一方、新たに渋滞が発生した箇所も存在する。全体的には、渋滞箇所は減少傾向である。
- (意見) 新しい道路が開通しても利用しない人は一定数存在する。特に、カーナビを更新しないと新たな道路開通区間の情報が反映されないという意見も聞く。個人の見解として、地元の人は北勢バイパスの開通について知っているが、エリア外の人には新しい道路情報を知らないため利用されていないのではないかと考えている。
- (意見) 冒頭で説明した総合対策について、三重県では公共交通の活用を明記している。2024年度に実施した渋滞対策で、公共交通を促進する取り組みがあれば教えていただきたい。
- (回答) 伊勢エリアにおいて伊勢地域観光交通対策協議会が実施主体となり、混雑時の公共交通促進策として、らくらく伊勢もうでにて混雑情報や公共交通に関する情報の発信を行っている。
- (意見) 北勢バイパス開通後の交通状況について、並行路線（国道1号・国道23号）の交通量の減少以上に北勢バイパスを利用する交通が大きく増加している状況であり、バイパスの交通量増加が地方道等の周辺交通を引き込んでしまうと想定される。地域交通の渋滞緩和など面的な観点から効果があれば教えていただきたい。
- (回答) 北勢バイパス開通による地方道等の周辺交通の引き込みについて、現在詳細な効果検証を実施しているところであり、並行路線（国道1号・国道23号）と北勢バイパスに挟まれたエリアの交通量減少を一定程度確認している。今回の資料は、東名阪道集中工事とGW期間を除外した5月の1週間の期間で開通後の交通状況を分析し報告している。引き続き、効果検証を深化し、残存する渋滞箇所の対策を検討していく。また、開通区間の効果は確認できるが、交通状況の変化により新たな渋滞の発生も確認しているため、関係機関と一体となって信号現示調整等の必要なソフト対策等を検討していきたい。
- (意見) 三重県は、県・市・国が連携して各エリアワーキンググループを進めていると感じている。引き続き連携して渋滞対策を進めていただきたい。

4. 2025年度以降に実施する予定の渋滞対策

特に意見なし

5. 主要渋滞箇所モニタリング

モニタリングを実施した結果、主要渋滞箇所から2箇所を削除し、計118箇所となった。

(意見) 稲生三丁目交差点は平日においては、いつ現地確認を実施したか。

(回答) 2025年7月の平日夕ピークである17時頃に調査を実施した結果、複数回の信号待ちがみられなかった。

	交差点名
削除箇所	鈴鹿市道加佐登鼓ヶ浦線稲生三丁目交差点 国道368号八幡工業団地1交差点

■結論

議事に対して、各委員から了承が得られた。